

地域リハビリテーション活動支援事業（以下、事業）について、安本氏は本号で「介護予防に、自立支援という視点で、地域包括支援センターと共に、総合的にリハ専門職が地域で活動するための仕組み」であると述べている。厚生労働省が示す「リハ専門職を活かした介護予防の機能強化のアプローチ」という点から、地域におけるリハ専門職の活躍への期待が伝わってくる。

リハ専門職が地域で果たす役割については、対象者の能力をアセスメントすること、生活行為の課題に対する具体的方策の提示、短期集中的な介入による活動の向上であることは明らかである。すでに、その実践例はさまざまな方法で示され、都道府県士会においても各種研修が開催され、人材育成も行われている。われわれリハ職は、この現状を理解し取り組みもうとしているが、期待されるほど十分

には活動できていない現状がある。その要因として常に話題となることに、施設の理解が得られない点がある。つい先日受講した研修会でも、「地域で役立つ

作業療法士になるには」というテーマで話し合った中で出された課題の多くは、施設の理解が得られず外に出られない点であった。

今回の特集では、広島県の取り組みを中心に、どのような背景をもとにリハ職が医療機関から事業に参画しているのかをお伝えいただいた。県、市町村からの働きかけがある点が重要であるが、行政から働きかけてもらえる存在になることや、なり続けることの大切さを感じた。地域で活動したいが、先の課題により難しいと感じている方に、ぜひとも本特集を参考にしていただきたい。また、安本氏の言葉にもある、かかわった対象者の「帰った先の仕組み」について、行政と共に考える機会をつくるという視点も活用いただきたい。何ごとも一歩踏み出さないことには、前には進まない。その踏み出すきっかけに本特集が役立ち、期待に応えられるリハ職が一人でも増えてくれれば幸いである。（竹内さをり）

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆 蟻塚 亮二 石川 隆志 伊藤 利之
伊藤 真美 岩井 和子 岩井 邦寿 宇田 薫
沖田 啓子 片岡 靖子 辛島千恵子 菊山 和生
川本愛一郎 来島 修志 岸本 光夫 窪田 静
相良 二郎 柴田八衣子 島崎 寛将 高島 千敬
鶴見 隆彦 中川 昭夫 仲木 右京 芳賀 信彦
浜村 明德 林 克樹 東 祐二 備酒 伸彦
深浦 順一 二神 雅一 松元 義彦 宮田 昌司
村井 千賀 村上 重紀 柳 尚夫 山口 昇
山根 寛 吉川ひろみ 米崎 二郎 渡辺 誠
(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.53 NO.3 (Mar.)

2019年3月15日発行（毎月1回15日発行）

定価（本体1,800円＋税）

年ごめ予約購読料 25,400円＋税（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎ 03-3814-1971

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2019, Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。